

令和2年度 新発田地域在宅医療・介護連携推進事業 実施計画

項目	しばた地域医療介護連携センターへの委託内容	しばた地域医療介護連携センターの具体的な取組	胎内市の取組（令和2年度）
(ア)地域の医療・介護の資源の把握	①住民・専門職のそれぞれが必要としている項目の洗い出しと情報の集約 ②ホームページを立上げ、①で集約した情報等を住民向け及び専門職向けに掲載	●医療・介護資源更新（アンケート形式） ●ホームページの運用と周知 利用者アンケート	○「胎内市の社会資源マップ」配布
(イ)在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	①在宅医療・介護連携に関する協議会等への参画による、在宅医療・介護連携における課題の抽出 ②市と連携・協力した医療・介護関係者へのアンケートの実施及び在宅医療・介護連携状況の分析・評価（事業評価も含む） ③広域的な意見・情報交換や検討を行う場の設定と運営 ④特に協議が必要な場合の、専門部会等の設置と運営	●在宅医療・介護連携に関する協議会等への参画 ●地域医療・介護連携に関する実態調査 ●在宅医療・介護連携推進センターの協議体設置と会議開催 ●ロジックツリーを用いて課題の抽出と対応策の検討	○ロジックモデルを活用した課題抽出と対応策の更新、評価指標設定 ・ワーキングメンバーでの検討 ○「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」結果の分析 ○地域包括支援センター運営協議会での協議（医療介護連携の現状と課題について各委員の立場からの意見聴取）
(ウ)切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	①実態把握から見えてきた課題をもとにした、在宅医療と介護が切れ目なく一体的に提供される体制の実現に向けた検討及び取組み	●地域課題から在宅医療・介護連携の提供体制実現について検討 ●二職種間の連携強化 つなぐ会 ●新発田地域の病院機能説明会を実施 ●患者の意思表示支援のための医療・介護連携対話記録 あなたの思いを支えるきまりごとシートと看取りのパンフレットの運用と見直し・振り返り	○多職種連携研修会開催（秋頃） 「多職種業務の役割及び連携に関する意見交換会」
(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援	①かえつ医療・介護ネットワークシステム（ときネット）の活用促進のための研修会等の開催 ②かえつ医療・介護ネットワークシステム（ときネット）以外の情報共有ツールの必要性の検討及び必要に応じた新たな情報共有ツール作成	●かえつ医療・介護ネットワークシステム活用促進 ときネット研修会（共催開催） ●患者の意思表示支援のための医療・介護連携対話記録 あなたの思いを支えるきまりごとシートと看取りのパンフレットの運用と見直し・振り返り ●“在宅あるあるミニレクチャー”の講義を通じて医師と医療・介護関係者の顔の見える場の設定	○連携シート活用を含めた、県立新発田病院との情報共有の在り方の検討 ・進捗状況の確認 ・胎内市独自で取り組むべきことの整理
(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援	①地域の在宅医療・介護の連携を支援する相談窓口の設定と運営 ②相談窓口の積極的な周知 ③病院等退院時の、地域の医療関係者と介護関係者の連携の調整 ④要請に応じて、地域包括支援センターが実施する地域ケア会議や事例検討会、介護支援専門員が開催するサービス担当者会議等への出席	●在宅医療・介護の連携を支援する相談窓口の設置・運営 ●在宅医療・介護の連携を支援する相談窓口の周知 ●新発田地域の病院機能説明会を実施 ●在宅医療・介護連携に関する協議会等への参画	
(カ)医療・介護関係者の研修	①医療・介護等に携わる多職種が、互いの業務や機能を理解し、連携を促進するための研修の開催 ②医療依存度の高い在宅療養のケースなど、医療・介護の連携に関する事例検討会の開催	●多職種業務の役割及び連携について相互理解のための研修会 ●新発田地域の病院機能説明会を実施 ●“在宅あるあるミニレクチャー”の講義を通じて医師と医療・介護関係者の顔の見える場の設定 ●新発田病院地域学習会（共催開催） ●看取りとACP研修会 ●エンド・オブ・ライフケアの研修会	○【再掲】ロジックモデルを活用した課題抽出と対応策の更新、評価指標設定…ワーキングメンバーでの検討 ○【再掲】多職種連携研修会開催（秋頃） 「多職種業務の役割及び連携に関する意見交換会」 ○ケア向上研修会における事例検討、グループワーク等の実施
(キ)地域住民への普及啓発	①在宅医療・介護に関する理解を深めるための住民向け講演会や小規模の出前講座等の開催 ②地域住民向けパンフレットの作成及び配布	●在宅医療の研修会 「在宅医療と人生会議」出前講座 ●令和元年度出前講座事後アンケートの実施と小冊子の配布 ●患者の意思表示支援のための医療・介護連携対話記録 あなたの思いを支えるきまりごとシートと看取りのパンフレットの運用と見直し・振り返り ●地域医療・介護を守り・育てる住民の育成	○地域出前講座（看取り、救急医療について） ○住民向けACP研修会実施に向けての検討
(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町の連携			○新発田市、聖籠町、阿賀野市と必要に応じて随時協議

※ACP（アドバンス・ケア・プランニング）：自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組。「人生会議」ともいう。